

2004 実践教育研究発表会 / 建築・デザイン系特別企画

シンポジウム

とやまの木で家をつくる

日時：平成16年9月29日（水） 14時～17時

会場：北陸職業能力開発大学校 D32教室

1. はじめに

「とやまの木で家をつくる会」は、富山の山で育った木を、富山の家へ有効に活用し、森林の価値を高め、地域の資源を地域で使う地域循環型への社会づくり、そしてムクの木を生かし自然素材を活用した健康で長持ちする家づくりを目指しています*）。

このような活動は日本各地で注目され、地元の木を使った家づくりネットワークが着実な成果をあげつつあります。そこで、その実践例として「とやまの木で家をつくる会」で活躍されています下記の2名の方をお迎えして活動状況等について講演をしていただきます。その後、新潟短大校の村尾先生にパネリストとして加わっていただきパネルディスカッション形式で問題点や今後の展開等について議論を進め、今後の更なる発展のための可能性を探っていきます。（*とやまの木で家をつくる会 HP より）

■株式会社 頼成工務店 代表取締役社長 安田信夫

〒939-2734 富山県婦負郡婦中町新屋 507 http://www.micnet.ne.jp/rai_jyo/

■三和総合設計株式会社富山事務所 所長 上野美祐紀

〒932-0313 富山県東砺波郡庄川町五ヶ 1550 <http://www.biwa.ne.jp/~sanwa-ss/>

2. 講演

2.1 安田氏講演要旨



図1 住まいの講座

「とやまの木で家をつくる会」の活動として、住まいの講座、下草刈り、枝打ち観察などを例に実践的な活動報告をしていただきます。また、その成果である新田邸について事例発表をしていただける予定です。



図2 枝打ち観察



図3 下草刈り



図4 新田邸

2.2 上野氏講演要旨

実家の山の木を使い、施主と設計者としてとやまの木で家をつくっている上野氏の実例を発表していただきます。

地元の山の木で家を建ててみよう
～施主として、設計者として思うこと～

地元の山の木で家を建てることになった経緯
おじいちゃんが植えてくれた木が山にあったはず・・・。

地元の山の木を使う という事に対する家族のへの説得

良いのは分かるけど、

コストがかかるのでは？ いつ完成するの？ 手入れが大変なのでは

地元の山の木を製材して思うこと

伐採→運搬→製材→人工乾燥→工務店の加工場へ

それぞれの工程を経て思ったこと

地元の山の木を使った家づくり経過報告

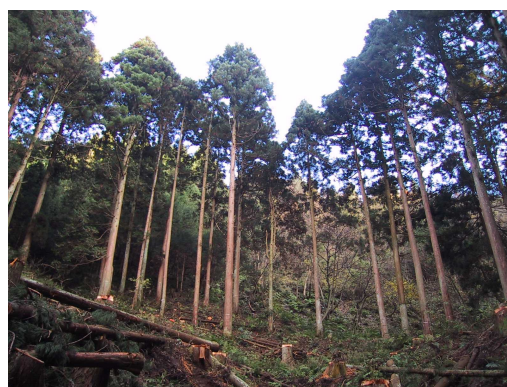


図5 伐採状況



図6 運搬状況



図7 製材状況

3 . パネルディスカッション

安田氏、上野氏、村尾氏をパネリストとして質疑を行う。